30th anniversary

創立30周年 記念誌

1990 Omihachiman Chamber of Commerce and Industry business women's club 2020

近江八幡商工会議所女性会

Women's Empowerment

商工会議所女性会活動指針

わたしたち、商工会議所女性会は、
リーダーとして、凛と信をもって連帯し、
平和でこころ豊かな社会を築きましょう。

1、リーダーとは、高い志をもって、
自己の変革・向上を目指すことです。

2、凛とは、情熱・勇気をもって行動し、
社業の発展に努め、地域社会に貢献することです。

3、信とは、礼節・勤勉を尊び、
美しい自然や良き伝統・文化を愛し、次の世代に
継承することです。

4、連帯とは、女性経営者の友情と
信頼の輪を内外に広げることです。

contents

1	女性会活動指針	5	会長挨拶	11～14	自主事業と研修
2	はじめに	6	記念事業	15	奉仕活動
3～4	祝辞	7～10	歩み	16	近江八幡の祭りと講演会

はじめに

近江八幡商工会議所女性会は、発足30周年を迎えました。家族を愛し、商いを愛し町を愛し地域を愛し、女性 の力でお役に立ちたいとの思いで活動しております。一人の力は小さいけれど、1 が10にも100にもつながり、手をつなぐことで絆が強くなることを実感しています。

美しい自然や先人が培ってきた文化と大切な歴史を学び守ることを実現できるように、少しでもお役に立ちたいと考えています。

地域特有の資源を最大限活かし、いまいちど地域住民自らの手でまちづくりに取り組み、自然と暮らしを連帯して守ることの大切さを文化にまで高めていかなければならないと考えます。

多くの皆様に支えられながら、女性として、地域のリーダーとして、今後とも地域に貢献をしてまいります。

地域の皆様と学びながら、共に歩みたいと考えています。

近江八幡商工会議所女性会　会員一同

17　会員交流会・全国大会・福島交流会
18　関西大会・近江八幡の物産
19　ひなまつりメニューコンテスト
20　地元野菜健康料理教室
21～22　会員名簿

祝 辞

近江八幡市
市長　小西　理

近江八幡商工会議所女性会がこのたび創立30周年を迎えられ、あわせて記念誌を刊行されましたことを心よりお慶び申し上げます。

平素皆様方には、商工業の振興のみならず、市政各般に亘り、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

貴会におかれましては、平成2年度の発足以来、研修会の開催などによる、商工振興のリーダーとしての研鑽だけでなく、地域のイベントへの出店やチャリティー活動など、まちづくりや社会貢献の面からも、幅広く活発な活動に精力的にお取り組みを頂きました。30年の長きにわたり継続されてきたことに対し、改めて深甚なる敬意を表する次第です。

さて、この1年は、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の危機により、市民生活や地域経済は、計り知れない大きなダメージを受けました。経営者でもあります皆様方におかれては、人一倍ご苦労があろうかと存じますが、行政といたしましても、出来る限りの支援を行い、手を取り合って立ち向かってまいりたいと考えております。

近江八幡市には、多くの魅力ある資源がありますが、近江商人の時代から、長きに渡り形成されてきた商売のまちは、人々を惹きつけることのできる大きな魅力のひとつです。皆様の視点やバイタリティにより、引き続き近江八幡の商いを大いに盛り上げてくださいますことをご期待申し上げます。

結びにあたり、この30周年を契機として貴会の益々のご発展と、皆様のご健勝と、さらなるご活躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

近江八幡商工会議所
会頭　尾賀 康裕

本年、近江八幡商工会議所女性会が創立30周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

創立の年1990年は東西ドイツの統一に象徴されるとおり米ソ冷戦が終焉した年でありました。翌年にはバブル経済が崩壊、日本の高度成長に終止符が打たれました。また創立20周年の年はリーマンショックが発生、金融システムが崩壊の危機にさらされました。そして本年は新型コロナウイルス禍で世界中の経済が停滞を余儀なくされております。このように、あらためて振り返りますとこの30年間は逆風下の経営環境の連続でありました。その中にあって地に足をつけ、地域経済振興はもとより積極的な福祉活動や会員資質向上研修を継続してこられました貴会に深甚なる敬意を表するものであります。

今後は日本のみならず世界すべてがデジタル社会に飲み込まれ人間中心の本来の営みが軽視されることに不安を感じます。こういうときこそ女性会の歌の歌詞にある「生産の燈を守り」「商いを交わり広げ」「険しい世にも助け合う」といった原点に戻るべきだと考えます。

これからの商工会議所女性会のご発展とご活躍をご祈念申し上げお祝いのご挨拶とさせていただきます。

祝 辞

関西商工会議所女性会連合会
会長　廣瀬 恭子

このたび、近江八幡商工会議所女性会が、創立30周年をお迎えになられましたことを、心からお慶び申し上げます。

近江八幡商工会議所女性会は、平成2年の発足以来、会員の皆様が心を一つにして女性経営者としての資質向上を図る一方、チャリティーバザーや地産地消の推進などの社会貢献活動を中心に、地域に密着した活動を推し進められてこられました。

また、全国商工会議所女性会連合会の全国大会をはじめ、関西商工会議所女性会連合会総会などへの積極的なご参加により、各地女性会会員の皆様との交流の輪を築いてこられました。こうした活動を積み重ね、創立30周年の佳き日を迎えられました。これもひとえに、髙木会長様をはじめ歴代の役員、会員の皆様の女性会活動へのご熱意とご努力の賜と、深く敬意を表する次第でございます。

このたびの新型コロナウイルス感染症の拡大によりまして、企業経営を取り巻く環境にも大きな影響が及んでおります。こうした逆境においてこそ、女性経営者同士がともに支え合い、地域の発展を目指す商工会議所女性会の真価が問われることになります。関西商工会議所女性会連合会といたしましても、さらなる交流と研鑽の輪を拡げ、女性経営者の力を結集して事業活動を展開して参りたいと考えておりますので、近江八幡商工会議所女性会の皆様にも連合会の事業活動に一層のご協力をお願い申し上げます。

結びに、近江八幡商工会議所女性会が、輝かしき創立30周年を契機として、今後も会員の皆様が厚い信頼の絆のもとに結束し、一層のご活躍をされますようご祈念申し上げまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

滋賀県商工会議所女性会連合会
会長　岡澤 則子

近江八幡商工会議所女性会の皆様、創立30周年をお迎えになられましたこと誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

10年ひと昔と申しますが、貴会の10周年、20周年、そして30周年と、平成を駆け抜けたそれぞれの歴史の中で、忘れ得ぬ熱いドラマが存在したことと存じます。ましてや近江八幡は近江商人発祥の地、全国に商売を拡大させ成功を納めていった先人達の故郷であり、商工の原点と言っても過言ではありません。

この地での女性経営者は、「商工会議所」活動の理解もひと際深くあられ、その眼差しと30年の歴史は、我々のそれらとは比べ物にならないほど情熱溢れるものであっただろうと想像致します。その時々の会長様も感慨深く「周年」を送られたことと拝察致します。

今、この世は想像だにし得なかったウィルスと共に存在しています。商工業が停滞する中、近江八幡商工会議女性会の30周年も県女連の活動もままならない状況下にあり、めっきりお会いする機会が無くなりました。如何お過ごしですか?「何よりも何処よりも近江八幡を愛してやまない私達」と仰った髙木会長のお言葉が忘れられません。どんな環境の中にあっても、近江八幡の地をしっかり足で踏みしめ、更なる10年に向けて出発なさったことと信じます。心より期待を致し、ご発展を願ってやみません。

近江八幡商工会議所女性会の30周年、心よりお慶び申し上げます。

ご挨拶

近江八幡商工会議所女性会
会長　髙木 茂子

1990年に創設されました近江八幡商工会議所女性会は、2020年創立30周年を迎えることになりました。これもひとえに会員の皆様と地域住民の皆様のご協力の賜物と心より深く敬意と感謝を申し上げます。

全世界に大きな打撃を与えている、新型コロナウイルス感染症の拡大が深刻な事態をもたらし、商工業者がダメージを受ける中、30周年式典は中止といたしました。

その中で当会ではリモート会議を重ね、各自アイデアを出し合い、記念品の作成や記念誌の発行に向けて、準備を進めてきました。そして近江八幡の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然を伝える記念誌が出来上がりました。

新型コロナウイルス感染症の克服の中で得た、今回の教訓を糧に今後、地域経済の活性化と次世代への継承に向け、会員一同これまで同様に精一杯手を取り合い、信頼の絆で尽力いたす所存でございます。

また従来の人間中心の経済から今後は自然との共生による持続可能な社会づくりも不可欠な時代になってまいりました。産業の空洞化や人口減少により地方経済が停滞していく中で、いかにして克服していくかが重要な課題であり、その鍵を握るのが地域の中小零細企業の活性化であります。

豊かな自然景観と八幡商人の築いた歴史文化、利便性に恵まれた環境で、この地域特有の資源を最大限に活かし、いまいちど地域の人々の手による地域づくりに取り組み、自然と暮らしを連帯して守ることの大切さを文化にまで高めていかなければならないと考えています。

女性会の仲間を通じて社会貢献を追求し、次世代の人々へ情報発信をしながら人として、企業家として、女性として優しさと自信と誇りを持って前進していきたいと思います。

このビジョンを創立30周年を迎えました近江八幡商工会議所女性会の天命として認識し、これまでお支えいただいた各商工会議所の女性会の皆様を始めとした各種団体の皆様、地域住民の皆様に深く感謝と御礼を申し上げ、今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

記念品

歴史がおりなす地元商品を
会員の皆様に配布しました。

引札柄　8号帆布トートバック

「引札」は商売繁盛を意味した「人を引く」の縁起広告で商売に使われてきました。近江八幡にあった縁起絵柄をアレンジしオリジナルネームを入れた８号帆布のトートバックです。

近江銘菓　でっち羊羹とういろ餅

近江八幡で生まれた「和た与」は、創業文久３年､150年の歴史と技を受け継ぎ、近江の和菓子「丁稚羊羹」の老舗として地域で愛され、県外にも多くの愛好家がいます。

〈不老長寿〉伝説の霊果“むべ”
うむべ御飴・むべソーダ

近江八幡に古くから不老長寿の果実として伝説がある「むべ」。
この歴史ある果実「むべ」を食べやすく加工した飴とソーダです。

創立30周年記念事業

寄付金を近江八幡市立総合医療センターへ

（令和３年1月21日）

新型コロナウイルスの蔓延により苦労されている医療現場を少しでも支援したいという思いから、当会より寄付金の贈呈を行いました。

金額は創立30周年にちなみ30万円。

贈呈後、小西理市長及び宮下浩明院長とお話しする機会を得て、実際の医療現場に携わっている方の生の声を聞き、より一層医療従事者の皆様への感謝の気持ちを強くし、女性会としてそして一個人としてできることは何かと考えさせられる１日となりました。

近江八幡商工会議所に紙折機を寄贈

（令和３年1月５日）

創立30周年の記念事業として、紙折機を近江八幡商工会議所に寄贈しました。

ホテルニューオウミの一室で贈呈式を開催し、尾賀会頭にお渡しすることができました。

商工会議所でお役立ていただければ幸いです。

感 謝 状

創立30周年を迎えられたのも、これまで長きにわたりご活躍をいただいた会員の皆様があってのことです。２０年以上在籍された9名の会員の皆様に令和２年１２月3日付で感謝状を贈りました。

30年：塚本 光代	27年：藤居 久栄	21年：田中 恵美子
30年：隨井 佳子	26年：廣瀬 真由美	21年：平田 好子
30年：田村 俊子	25年：髙木 茂子	20年：久保田 操

近江八幡商工会議所女性会30年の歩み

西暦／世の中の出来事

1990年 平成2年

・バブル経済が崩壊

・設立発起人会開催
・設立総会開催、会長に村井照子氏を選任（H2.12.3）

平成2年設立総会

1991年 平成3年

・湾岸戦争が勃発

・八日市「ノエビアの郷」視察見学会
・近商婦連総会に初参加（第3回・姫路）
・草津商工会議所婦人部との交流会開催
・全国商工会議所婦人会連合会に加入
・てんびんまつりにてチャリティバザー初開催
　※H26まで延べ24回チャリティバザーを開催
・エッセイスト 橋凡子氏特別講演
・全商婦連総会初参加（第23回富山）

1992年 平成4年

・東海道新幹線の「のぞみ」が運転開始

・新年懇談会「市長と語る会」初開催
・第4回近商婦連総会参加　大津プリンスホテル
・田崎真珠、神戸港見学
・バザーの収益金を市社会福祉協議会に寄付
・健康コンサルタント邱淑恵氏講演会開催
・全商婦連総会初参加（第24回愛媛）
・人権学習研修会、税務研修会

平成4年全婦連総会（愛媛）

1993年 平成5年

・皇太子徳仁親王ご成婚
・Ｊリーグ開幕

・副会頭と懇談会、安土考古学博物館見学会開催
・関西電力オール電化ハウス視察研修会
・地域クリーン運動（近江八幡地域清掃）※以後毎年実施
・役者の大川橋蔵夫人、丹羽真理子氏講演会開催
・北海道奥尻島沖地震に義援金送付
・近江八幡商工会議所婦人会に名称変更
・五箇荘町近江商人てんびんの里めぐり開催

平成6年新年懇談会

1994年 平成6年

・日本人初の女性宇宙飛行士・向井千秋さんが宇宙へ

・新年懇談会開催
・ルミナス神戸、ハーバーランド視察研修会
・バザー収益金を市の地域環境整備へ寄贈
・タレント 西川ヘレン氏特別文化講演会
・アジアトレードセンター、関西国際新空港視察研修
・あすなろ創刊号発行
・料理教室、人権学習研修会

平成6年西川ヘレン氏特別講演会

1995年 平成7年

・阪神・淡路大震災
・地下鉄サリン事件

・新年懇談会、市長と語る会開催
・三陸はるか沖地震並びに兵庫県南部地震災害に義援金送付
・創立5周年記念式典及び祝賀パーティ
・市へ車いす2台寄贈
・台湾海外視察研修会開催
・山本なお栄氏健康セミナー開催
・料理教室、人権学習研修会
・石岡商工会議所婦人会との交流会
・ワープロ講習会開催

平成7年創立5周年

1996年 平成8年

・Yahoo! JAPAN サービス開始

・新年懇談会、市長と語る会
・北近江秀吉博視察研修会
・キャスター 川崎早春氏講演会
・バザー収益金より市へ介護ベッド2台寄贈

1997年 平成9年

・消費税が5%に

・新年懇談会、市長と語る会
・県立琵琶湖博物館、草津本陣視察研修会
・歯科医 酒井珠材氏「笑顔トレーニング講座」
・日本靴学会　苗村香代子氏健康セミナー
・バザー収益金より市へ介護ベッド2台寄贈
・料理教室、人権学習研修会

1998年 平成10年

・冬季長野五輪開催

・新年懇談会、市長と語る会開催
・平成10年度定期総会　会長に隨井佳子氏
・「酒とアートの宴」協賛、料理11品を出品
・女優 浜美枝氏特別講演会開催
・横浜ベイサイドマリーナ視察見学会実施
・グラフィックデザイナー平澤義正氏「毛筆フリースタイル講座」

平成11年創立10周年

1999年 平成11年

・男女共同参画社会基本法公布

・滋賀県商工会議所婦人会連合会設立総会
・新年懇談会、市長と語る会開催
・積水ハウス総合住宅研究所、ナイスケア大和田視察
・介護保険制度勉強会と夕涼み会
・市制45周年記念式典にて市より感謝状授与
・創立10周年記念式典並びに懇親パーティ（ホテルニューオウミ）
・「冠婚葬祭マナー研修会」会議所と共催

西暦／世の中の出来事

2000年 平成12年

・三宅島噴火
・2000円札が発行

・市長と語る会、新年懇談会
・川島織物視察研修会開催
・献茶・呈茶会　八幡公園豊臣秀次銅像前
・バザーの収益金より市へ車いすを寄贈
・着こなしのテクニック講座　会議所と共催
・秋の交通安全啓発運動へ協力
・尼僧 小林良正氏特別講演会
・近江八幡商工会議所45周年記念事業「まちなみフェスタ2000」協力
・全婦連創立30周年記念式典参加（パシフィコ横浜）
・名称を近江八幡商工会議所女性会に変更

平成13年沖島研修

2001年 平成13年

・アメリカ同時多発テロ事件が発生

・第1回八幡桜まつりに協賛
・沖島視察研修会開催
・インターネット体験講座
・八幡ざんまい歴史めぐりに協賛
・人権学習研修会、ボールペン字上達実習講座
・小牧商工会議所女性会との交流会
・市社会福祉協議会へ車いす5台寄贈
・敦賀商工会議所女性経営者の会との交流会

平成15年県女連講演会

2002年 平成14年

・サッカーワールドカップ日韓大会

・市長と語る会、新年懇談会
・料理旅館大宗店主 藤田和子氏との座談会
・月見・鯉沼廣行氏の横笛を聴く会
・市福祉課へ読書器を寄贈
・「バルーンアートセミナー」開催

2003年 平成15年

・イラク戦争開戦

・市長と商工女性を語る会
・近江八幡市福祉大会で感謝状授与
・県女連講演会 活動家辛淑玉氏講演会参加
・資質向上研修会「サービス向上のお手本を学ぶ」
・社会福祉協議会栄養指導室に冷蔵庫を寄贈

平成16年第16回近畿大会

2004年 平成16年

・新潟県中越地震発生

・市長と語る会開催
・県女連講演会 キャスター 辛坊治郎氏参加
・社労士 藤井悦子氏との座談会
・バザー収益金の一部を近江八幡市へ
・当女性会創立15周年記念観劇会（御園座）

2005年 平成17年

・大規模国際博覧「愛・地球博」が愛知県で開催

・成人呈茶会開催
・市長と語る会、新年懇談会開催
・第17回近畿商工会議所女性会連合会総会近江八幡大会（近江八幡市文化会館・ホテルニューオウミ）
・近江八幡市新火葬場竣工式協力
・人権学習研修会
・市民共生センターへ座椅子5台を寄贈

平成17年第17回近畿大会

2006年 平成18年

・「格差社会」が流行語に

・市長と語る会、新年懇談会開催
・人権学習研修会
・御千代保稲荷神社参拝会
・さわやかサンビア祭協力
・女性会健康セミナー（薬膳館）
・バザー収益金より市へ補聴器誘導システム贈呈
・会員交流座談会（あずまや）
・八幡山城址秋の特別茶会開催協力

平成20年市長と商工女性を語る会

2007年 平成19年

・東京マラソンが初めて開催

・市長と商工女性を語る会
・新潟県中越沖地震義援金を柏崎商工会議所女性会へ寄付
・女性会人権学習研修会開催
・資質向上研修会開催（伊吹高原荘ほか）

2008年 平成20年

・リーマンショック

・市長と商工女性を語る会
・人権学習研修会
・県女連講演会 滋賀県知事 嘉田由紀子氏
・龍谷大学教授 岡地勝二氏特別講演会開催
・会員交流会 in 京都
・女性会人権学習研修会

平成21年創立20周年

2009年 平成21年

・裁判員制度の運用が開始

・市長と語る会、新年懇談会
・当女性会20周年記念式典・志村ふくみ展開催
・京街道門前通り商店街の七夕夏祭りに出店
　※以後現在に至るまで毎年出店
・市へ車いすを10台寄贈
・県女連創立10周年記念式典・記念講演会

2010年
平成22年

・尖閣諸島中国漁船衝突事件発生

・人権研修会・新年懇談会（福井県にて開催）
・平成22年度定期総会　来賓尾賀会頭
・夏野菜健康料理教室　講師 忠見美恵氏
・京街道門前通り商店街の七夕夏祭りに出店
・てんびんまつりチャリティ市場に出店
・近江八幡市へ車いす7台を寄贈
・県女連視察研修会　近江兄弟社学園視察見学
・近江八幡消防署による AED を使った救命講習会
・冬野菜健康料理教室　講師 忠見美恵氏

平成22年度定期総会

2011年
平成23年

・テレビ放送が、デジタル方式に完全移行
・東日本大震災

・新年懇談会「秋村会頭・尾賀副会頭との懇談会」
・県女連講演会　講師 作家 今井彰氏
・平成23年度定期総会
・女性会共催による西の湖と葦を学ぶ会に参加
・京街道門前通り商店街の七夕夏祭りに出店
・てんびんまつりチャリティ市場に出店
・近江八幡市へ車いす5台を寄贈
・県女連研修会 ㈱ダイフク「日に新た館」見学
・資質向上研修会　講師 近江八幡市防災センター　大西實氏

平成23年七夕夏祭り

2012年
平成24年

・東京スカイツリーが開業

・県女連講演会　講師　守山商工会議所副会頭 堀井隆彦氏
・県女連　福島県商工会議所女性会連合会との交流会・視察研修会
・新年懇談会「産官学民連携のまちづくりについて」
　講師　まちづくり会社設立準備統括 立岡功次氏
・県女連 近江八幡清掃活動（駅前近辺一斉清掃活動）
・女性会共催による千人茶会開催
・平成24年度定期総会　会長に髙木茂子氏
・京街道門前通り商店街の七夕夏祭りに出店
・てんびんまつりチャリティ市場に出店
・資質向上・人権研修会
　（近江八幡市地域女性団体連合会と合同開催）
・県女連研修会　旭化成守山工場見学
・近江八幡市へ車いす5台を寄贈
・松明フェスティバルで出店
・新年懇談会　松明について勉強会

平成24年資質向上人権研修会

2013年
平成25年

・大胆な金融緩和を開始（アベノミクス）

・県女連 福島県商工会議所女性会連合会との交流会
・滋賀県下一斉清掃活動
・春爛漫チャリティコンサートに出店
・平成25年度定期総会
・京街道門前通り商店街の七夕夏祭りに出店
・てんびんまつりチャリティ市場に出店
・福島県商工会議所女性会へ義援金を寄贈
・松明フェスティバルに出店
・県女連研修会　㈱井之商・叶匠寿庵視察

平成25年県女連定期総会

2014年
平成26年

・消費税が8%となる

・守山商工会議所との交流会・新年懇談会
・滋賀県下一斉清掃活動
・平成26年度定期総会
・京街道門前通り商店街の七夕夏祭りに出店
・てんびんまつりチャリティ市場に出店
・バザーの収益金で介護用品を贈呈
・資質向上研修会　アクサ生命保険株式会社
・県女連講演会　（一財）ハートランド推進財団　川端五兵衛理事
・松明フェスティバルに出店

平成26年守山商工会議所との交流会

2015年
平成27年

・マイナンバー制度がスタート

・新年研修・懇談会 琵琶説教師金森昭憲氏「那須与一」
・滋賀県下一斉清掃活動
・平成27年度定期総会
・「びわ湖トライアスロンｉｎ近江八幡」にボランティアスタッフとして参加
・京街道門前通り商店街の七夕夏祭りに出店
・３女性会（近江八幡・守山・彦根）合同による滋賀県知事との意見交換会
・第18回八幡堀まつり出店
・県女連 福島県商工会議所女性会連合会との交流会
・てんびんロード商店街イベントに出店
・県女連研修会　パナソニック㈱彦根工場他視察

平成27年知事との意見交換会

2016年
平成28年

・熊本地震が発生
・北海道新幹線が開業

・新年懇談会市長と語る会市長冨士谷英正氏、尾賀副会頭との交流会
・滋賀県商工会議所女性会連合会　県内一斉清掃
・資質向上研修会　講師（社福）しみんふくし滋賀　成瀬和子氏
・平成28年度定期総会・講演会
　講師（有）池田牧場専務取締役 池田喜久子氏
・第２回びわ湖トライアスロン in 近江八幡に出店
・京街道門前通り商店街の七夕夏祭りに出店
・第19回八幡堀まつりに出店
・県女連講習会（株）招福楼　代表取締役 中村成実氏
・お茶会　旧西川家住宅庭園
・県女連視察研修　パナソニック㈱草津工場

平成28年市長と語る会

2017年
平成29年

・九州北部豪雨

・新年懇談会　近江八幡観光ボランティアガイド協会紙芝居
・八幡山ライトアップイベント
・スマートフォン研修会　講師 でんき屋 NHA 代表 柴田公一氏
・滋賀県商工会議所女性会連合会　県内一斉清掃
・平成29年度定期総会
・京街道門前通り商店街の七夕夏祭りに出店
・共栄会あきんど夏祭りに初出店
・県女連講演会 長浜市市民協働部次長 太田浩司氏
・県女連研修会　ヴィラ・アンジェリカ・ラ コリーナ近江八幡視察
・３女性会（近江八幡・守山・彦根）合同による滋賀県知事との意見交換会

平成29年スマートフォン研修会

2018年
平成30年

・大阪府北部地震発生

・新年懇談会、尾賀副会頭との交流会
・県内一斉清掃
・平成30年度定期総会
・県女連講演会　滋賀県事業引継ぎ支援センター　梅原克彦氏
・共栄会あきんど夏祭りに出店
・ホンデリング・プロジェクトを実施
・八幡堀まつり出店
・滋賀県商工会議所女性会連合会　創立20周年記念事業

平成30年定期総会

2019年
平成31年
令和元年

・「令和」に改元、憲政史上初の生前退位
・消費税が10%（標準税率）になる

・新年懇談会市長と語る会市長小西理氏、来賓秋村会頭
・近江八幡の食材でつくるひなまつりメニューコンテスト開催
・おひなまつりイベント開催
・県内一斉清掃
・第２回ホンデリングプロジェクト
・2019年度定期総会
・京街道門前通り商店街の七夕夏祭りに出店
・共栄会あきんど夏祭りに出店

平成31年市長と語る会

2020年
令和2年

・新型コロナウイルスが全世界で大流行

・新年懇談会　来賓尾賀会頭
・近江八幡商工会議所30周年

- 折鶴使 - ぐりん（GREN）

沖 島

沖島視察研修会開催（平成13年5月14日）

近江八幡をさらに知るために、沖島町を訪問。島の２つの寺、西福寺と願証寺や、藤原不比等の建立とされる式内社奥津島神社（奥津島比売命）を訪れました。沖島小学校を視察研修させていただき、玉川喜代子校長に話を伺うことができました。

沖島小学校

漁港

沖島物語

琵琶湖に浮かぶ沖島

近江の国守であった「藤原不比等」(藤原鎌足の子)が奥津島神社を建立し、奈良時代には、称徳天皇への反逆の罪で追われた恵美押勝（藤原仲麻呂）が一族らと共に沖島に一時期住んだと伝えられています。本格的に人が住むようになったのは、平安時代末期のことです。保元・平治の乱（1156～1159）による源氏の落武者７人（南源吾秀元、小川光成、西居清観入道、北兵部、久田源之丞、中村磐徳、茶谷重右衛門）が現在の島民の祖先とされています。８代将軍足利義政は湯谷ヶ谷（番所山）にて島民に湖上を行き交う船の監視と取締りを命じたとされ、戦国時代には、織田信長が浅井長政に対して行った「手筒山の戦い」や「小谷城攻め」で活躍したことにより、信長から感謝状と琵琶湖一里四方を禁漁区とする特権を付与されています。

文禄の役（1592）においても水軍として活躍（沖島共有文書）し、漁業権の特権は認められました。徳川時代にも慣用専用漁場として認められ、明治８年には滋賀県知事より永代借用権として認められましたが、最終的には戦後の漁業法改正により消滅しました。現在日本で唯一、淡水湖に人が住む島です。

新町通り

志村ふくみ展（平成21年4月28日～30日）

創立20周年の記念事業として、近江八幡出身の人間国宝志村ふくみ先生の作品展を新町通りにある市立資料館旧西川家にて開催。(株) 扇四呉服店様や (株) たねや様などにもご協力をいただきました。新作も含め多くの先生のきものが展示され、織と染の美の世界が展開。３日間の一般公開では 1000 人近くの方が見学に来られました。

旧西川家住宅

見越しの松・うだつ

古い商家の町並みは、県下で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。（新町通りと永原町通り）その通りの江戸末期から明治にかけて建てられた家々は、屋根に防火用の壁である「うだつ」をあげています。豪商の邸宅で多く見られ、家を火災から守るために、屋根にうだつをあげていました。「うだつが上がらない」の語源はここからきています。

当時の佇まいを残す家並みの塀越しにのぞく「見越しの松」が通りにひときわ風情を添えています。

新町通り

八幡商人物語

開町した豊臣秀次公没後まもなく天領となった近江八幡の町から、天秤棒を肩に商人は全国に活動を広げます。北は北海道から南ははるか安南（ベトナム）やシャム（タイ）まで進出し、当時まだ発展途上であった江戸にもいち早く店を出しました。

明治以降、社会が大きく変転する中で日本経済の近代化にも八幡商人をはじめとする近江商人たちが大きく貢献しました。

「三方よし」の理念を商売の基本とし、自らの利益のみを追求することなく、社会事業に大きく寄与しました。八幡商人たちが残した財産は、形にのこるものばかりでなく、むしろ、その精神に大きく価値があるといえます。日本橋に大店構えた近江商人西川甚五郎（現：ローズ布団西川）は本宅を今も近江八幡に置き活躍しています。

西川甚五郎邸（非公開）

西の湖

西の湖イベントに共催（平成23年5月28日）

NPO 法人秀次倶楽部主催による「西の湖と葦を学ぼう！」のイベントで、地域の子供たちとふれあいながら、葦（ヨシ）と自然環境などについて学ぶことができました。水郷地帯で渡合の水門がある、びわこ揚水で開催されました。

円山水郷めぐり

びわこ揚水

水郷物語

日本最大の水郷地帯が今も残っています。

その景観の美しさは古くから知られ、琵琶湖八景の一つに数えられています。

琵琶湖周辺では江戸時代からヨシの生産が行われていました。しかし滋賀県内で現在も生業として続くのは西の湖周辺のみです。職人の手作業により簾などの生活用品やヨシ笛などの工芸品へと加工されます。

また、西の湖がある近江八幡市で行われる八幡まつりでは古来より西の湖のヨシが松明として使用されます。冬にはヨシ刈りが行われ、刈り終わったヨシ原は３月～4月にヨシ焼きが行われます。

冬の水郷

水郷は四季折々の風情を見せ、観光では船遊びとして「水郷めぐり」が行われ水鳥や湖魚の生態を鑑賞でき、船頭の案内で多くの観光客を楽しませています。

周辺を石垣で囲まれた島状の土地で稲作が行われている地域「権座」があります。干拓前は同様の水田が７カ所ほどありましたが、現在は権座と呼ばれる地域しか残っていません。広さは 2.5 ヘクタールほどで、舟を用いて農作業が行われています。かつては食用米が作られていましたが、現在は酒米が作られています。

八幡山

八幡山散策（平成29年２月14日）

八幡山散策を実施し、山頂にある村雲御所瑞龍寺門跡などを見て回りました。非常に寒かったものの、山頂からの雪景色を見るという貴重な体験ができました。

八幡堀

村雲御所瑞龍寺

八幡山ロープウエー

秀次物語

豊臣秀次（1568 ～ 1595）は豊臣秀吉の姉･ともの子。秀吉の養子となり関白職を継ぎました。平和なまちづくりに情熱を燃やした青年武将は天正 13（1585）年、18 歳にして近江 43 万石の領主に任ぜられ、信長亡き後の安土城下の自由商業都市としての発展を目指して楽市楽座を施行、城の防御である八幡堀を琵琶湖とつなぎ、往来する船を寄港させるなど、秀次はわずか５年の八幡山城在城の間に、商いのまちとしての繁栄の基盤を築いたのでした。

後に秀頼が産まれ、後継者を巡る争いにより叔父秀吉に高野山で自害させられました。

村雲御所瑞龍寺は京都堀川に母ともの方が慶長元（1596）年後陽成天皇に秀次公のとむらいをするために授り、菊の御紋が許された日蓮宗のお寺です。昭和 37（1962）年京都から移築し尼寺として開山され、秀次公の銅像が昭和 56（1981）年八幡公園に市民によって建てられました。

秀次公のまちづくりにかけた情熱は、今日八幡堀や町並み保存運動をはじめとする歴史を活かした近江八幡のまちづくりに受け継がれています。

八幡公園秀次公銅像

旧伴家住宅

婚礼衣装展「近江の花嫁」協力（平成22年4月10日）

旧伴家住宅にて、㈲ラビットハウスが企画された昔の婚礼儀式及び婚礼衣装ショーに女性会が協力。花嫁のモデルは近江八幡出身、元宝塚女優の穂月はるなさん。
留袖姿で提灯行列のショーに出演しました。

旧伴家住宅

伴　蒿蹊（ばん こうけい）

八幡堀

旧伴庄右衛門は江戸初期に活躍した八幡商人で屋号を扇屋といいます。寛永年間に東京日本橋に出店し、麻布・畳表・蚊帳を商いました。

５代目の伴蒿蹊は 18 歳で家督を継ぎ、大坂淡路２丁目に出店。学問にも興味を持ち、本居宣長、上田秋成、与謝蕪村らと親交のある国学者でもありました。

以後も、伴家は繁栄を誇りましたが、明治維新等の激動期に逆らえず明治 20 年に終焉しました。

今に残る旧伴家住宅は７代目伴庄右衛門能尹が伴庄右衛門家本家として、文政 10（1827）年から天保11（1840）年の十数年をかけて建築したものですが、明治時代になって当時の八幡町に譲渡されると小学校・役場・女学校と変遷しました。

戦後は近江兄弟社図書館として使用され後に近江八幡市立図書館となり、その後の整備事業を経て公開されています。

ヴォーリズ建築

滋賀県商工会議所女性会連合会 視察研修会　（平成22年9月28日）

滋賀県商工会議所女性会連合会の研修会が近江八幡で行われ、学校法人近江兄弟社学園（現ヴォーリズ学園）に視察訪問させていただきました。学園の経営方針などをお話していただいたあと、施設の見学をしました。

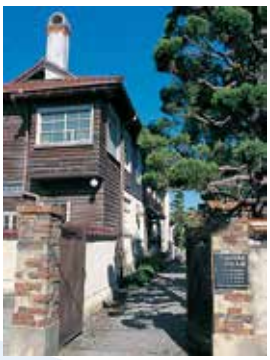
ヴォーリズ学園内

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ

アメリカのカンザス州レブンワース生まれ。明治 38（1905）年滋賀県立商業学校（現滋賀県立八幡商業高等学校）の英語科教師として来日。２年後教師を解職、YMCA 活動を通し、近江ミッション（近江基督教伝道団）を創設、キリスト教伝道のための施設の建設を契機に関西を中心に設計活動を開始しました。

京都で建築設計監督事務所を設立し、日本各地で西洋建築の設計を数多く手懸けました。学校、教会、YMCA、病院、百貨店、一般住宅など、その種類も様式も多彩で（神戸女学院、大阪教会、大同生命ビル、東華采館、大阪大丸、明治大学礼拝堂、等）近江八幡を始め、滋賀、京都、大阪、兵庫、東京、九州、長野の軽井沢等様々な場所に建築されました。

新町のヴォーリズ銅像



ヴォーリズ建築の資料館

建築家でありながら、ヴォーリズ合名会社（近江兄弟社）の創立者の一人として家庭医薬のメンソレータムを広く日本に普及させた実業家でもあります。

また、讃美歌や同志社カレッジソングなどの作詞作曲を手がけ、ハモンドオルガンを日本に紹介するなど、音楽についての造詣も深かったそうです。昭和 16（1941）年に日本に帰化してからは、満喜子夫人（華族一柳末徳子爵の令嬢）の姓をとって一柳米来留（ひとつやなぎ めれる）と名乗りました。また太平洋戦争終戦直後、ダグラス・マッカーサーと近衛文麿との仲介工作に尽力したことから、「天皇を守ったアメリカ人」とも称されています。満喜子夫人と教育にも精通し、近江商人発祥地である近江八幡市を拠点に精力的に活動したことから、「青い目の近江商人」と称され、昭和 36（1958）年、近江八幡名誉市民第１号になりました。

市立資料館

お茶席（平成28年11月18日）

郷土資料館・民族資料館・重要文化財の旧西川家住宅の三館で市立資料館です。「豊臣秀次公」特別展の開催に伴ない、茶の湯に精通した青年大名秀次公を顕彰をするために、お茶席を開きました。
旧西川家住宅のお庭で趣があるお茶会でした。

旧西川家住宅庭園

西川 利右衛門（にしかわ りえもん）

西川利右衛門（古文書によっては、理右衛門とも書かれています）は、近江八幡市を代表する近江商人の一人で、初代から昭和５年に 11 代が没するまで、約 300 年間に亘って活躍しました。

屋号を「大文字屋」と称し、蚊帳（かや）や畳表などを商い財をなし、近江を代表する豪商としての地位を築きました。11 代が没した後、分家の西川庄六家の厚意によって市に土地建物共に寄贈されました。

昭和 58 年 1 月重要文化財に指定、昭和 60 年より保存修理が行われ、主屋は 1706（宝永 3）年の建築当初の形に復元されました。また、3 階建の土蔵は天和年間（1681～1683）年の建築で、全国的に見ても珍しいものです。

正面の入り口の郷土資料館はヴォーリズ建築で、元警察署でした。

ヴォーリズ建築の郷土資料館

旧西川家住宅

野間清六邸

おひなまつりイベント（平成31年３月２日）

しみんふくし滋賀野間邸にて開催。㈲おりづるご協力のもと、子どもたちにお雛様とお内裏様の格好での写真撮影会を行いました。
皆、お雛様とお内裏様になりきり、素敵な写真を撮っておられました。

野間清六邸

野間 清六（のま せいろく）

野間清六家は、江戸中期に下総（茨城県）に酒造業として出店し、幕末頃には結城の御三家と言われるほどの勢力を誇りました。明治に入り最後の当主は書画などを愛好する文化人としての活躍を希望し商売は廃業しました。

その後、野間清六氏は東京国立博物館で美術課長、普及課長、学芸部長を歴任しました。

近江八幡市に在る野間清六家の広大な屋敷は往時を偲ばせます。明治初期に増築されたところには茶室があり、庭には豪華な石灯篭が多数おかれています。

現在は社会福祉法人しみんふくし滋賀が管理し、保育事業や介護保険事業等の本部事務所として活用するほか、文化事業や地域の方々との交流の場としてイベント等を開催し、特別公開をされています。近江八幡節句人形めぐり「町なみに装うひいなのほほえみ」では、女性会も野間邸で独自の企画を開催します。

野間 清六邸

てんびんまつりチャリティバザー

チャリティバザー

てんびんまつりや商店街の夏祭りなど地域のイベントで得た収益金で地域のお役に立てるような事業活動をしています。

市長室にて車いすを市民病院に寄贈

特別養護老人ホーム水茎の里へお風呂椅子を寄贈

地域清掃活動

県下一斉清掃 八幡小学校前

街をきれいに
県内女性会が一斉活動
近江八幡商工会議所も参加
新学期を前に通学路で実施
報知新聞記事

てんびんまつり準備草刈り

びわ湖トライアスロン in 近江八幡

ボランティアスタッフとして参加

県下一斉清掃 駅前通り

近江八幡の祭り

共栄会商店街あきんど夏祭り

ラ コリーナ建設予定地・松明フェスティバル

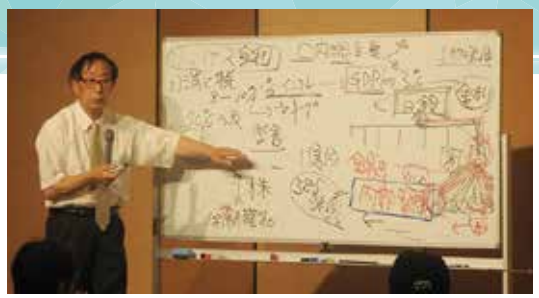
西の湖園地・松明フェスティバル

京街道門前通り商店街夏祭り

八幡堀まつり

毎年開催されている商店街の夏祭りや
八幡堀まつり等に参加しています。

講演会・勉強会



岡地勝二氏講演会（平成 28 年 6 月 10 日）

講師に龍谷大学名誉教授・経済産業分析研究所所長の岡地勝二氏をお招きし、「アベノミクスの現状と問題点～アベノミクスは果たして成功するのか～」をテーマにお話いただきました。

経済の現状を政治家の裏話や冗談も交え、楽しく解説してくださいました。

女性会人権学習研修会（平成 20 年9月 19 日）

当会会員である藤井社会保険労務士事務所の藤井悦子氏に「身近な生活にとりまく社会保険について」と題したテーマでお話をいただきました。

滋賀県商工会議所女性会連合会視察研修会（平成 29 年 11 月 8 日）

県女連の視察研修会でラ コリーナ近江八幡を訪問。本社施設にて、たねやグループ CEO で近江八幡商工会議所副会頭である山本昌仁氏に、同社の取組や理念を交え講演いただきました。

会員交流会・全国大会・福島女性会交流

会員交流会

新年会は近江八幡市長や商工会議所会頭に近江八幡の現状と今後の発展政策などお聞かせ頂き、意見交換や会食をしてきました。最後はビンゴゲームで締めくくります。ビンゴゲームは1000円ぐらいのプレゼントを各自用意していただきます。
わくわくしながらいつも、楽しいひとときです。

京料理 宮前

まるたけ近江 西川

滋賀県商工会議所女性会連合会の会議や研修会

県女連正副会長会議　近江八幡 京料理 宮前

県女連研修会　ヴィラ・アンジェリカ近江八幡

日本商工会議所女性会連合会の全国大会

平成29年北海道全国大会

平成30年岩手全国大会

令和元年鹿児島全国大会

令和2年倉敷全国大会リモートで開催

東日本大震災から
福島県商工会議所女性会連合会と交流

当会の所属する滋賀県商工会議所女性会連合会と福島県商工会議所女性会連合会は数度に渡り、交流を深めてきました。

平成24年2月には、福島県に訪問し東日本大震災で甚大な被害を受けられた福島の皆様に役立てていただきたいと、義援金の贈呈を行いました。また、福島県商工会議所女性会連合会の皆様から「東日本大震災における福島県内各地の被害状況と各女性会の取組み」について説明をしていただき、意見交換を行いました。以後も全国大会の折などで親交を深め、合計5回の交流会を開催しました。

大津プリンスホテルでの歓迎

絆

福島での義援金贈呈

第30回 関西商工会議所女性会連合会 大津大会
（平成 30 年 6 月 1 日）

大津市のびわ湖大津プリンスホテルにて開催。物産展では、近江八幡の名物として㈱和た与のでっち羊羹、前出のむべ家のむべソーダとうむべ御飴、㈲ほのぼの館の葦せんべいやよし製品を販売しました。

ホテルニューオウミ

大津プリンスホテル

葦製品

酒とアートの宴　（平成10年10月17日・18日）

近江八幡の街並みを使って開催されたびわこデザイン文化協会と滋賀県酒造組合連合会が主催の「酒とアートの宴」において、女性会があきんどの里で「お酒の肴」を提供しました。

近江八幡ならではの味、赤こんにゃくや湖魚、お祝いのお赤飯や男子誕生を祝っての黒豆の白むしご飯など、おふくろの味をふるまいました。（ゲストは女優の浜美枝氏）

あきんどの里

かわらミュージアム

木珠アクセサリー

工芸品
- ガラス製品・水茎焼・葦製品
- 数珠・竹細工・八幡瓦　等

赤こんにゃく

丁稚羊羹

近江牛・水郷野菜

丁字麩

むべ

鮒寿司・湖魚佃煮

葦うどん

ひなまつりメニューコンテスト
近江八幡の食材でつくるひなまつりメニューコンテスト

（平成 31 年 2 月 16 日）

近江八幡市総合福祉センターひまわり館栄養指導室にて開催。市内の小学生からメニューを募集し、応募の中から、実技審査を 7 組 14 名で行いました。事前に考案してもらった近江八幡の食材を使った料理はどれも力作ぞろい。食材の提供を JA ファーマーズマーケットきてか～な様にご協力頂きました。ひなまつりらしい華やかな料理ができあがりました。

審査委員には、ひさご寿司料理長 川西豪志氏を招き、当会正副会長とともに審査をしてもらった結果、岡山小学校３年生の雁瀬夢歩（がんせゆめほ）さんのメニューが１位に選ばれました。

多種多様な地元食材を使ってのメニューコンテストとなり、子どもたちに地元食材について興味、関心をもってもらえるイベントとなりました。

○募集メニュー

・ひなまつりにふさわしいランチメニューであること
・近江八幡の食材を１品以上使用すること
・食材費は１人前５００円以内

JA きてかーな

○目的

1.親子が一緒に調理することで、料理の楽しさや食の大切さを感じてもらうとともに、地元食材への関心を高める

2.地元行事「まちなみに装うひいなのほほえみ」を盛り上げる

お父さんもお母さんもおばあちゃんも頑張りました！

優勝者のレシピを紹介

ひな祭りをイメージした華やかな色合いのメニューです。
一部紹介します。おひなまつりにぜひ作ってみてください。

★ひなポテトサラダ★

材 料

・ポテトマカロニサラダ 適宜
（じゃがいも、マカロニ、マヨネーズ）
・卵　１個
・プチトマト　２個
・イチゴ　１個
・でっちようかん　一切れ

優勝の雁瀬夢歩さんとおばあちゃん

作り方

①ポテトサラダとマカロニサラダをつくる
②フライパンで卵を薄焼きにする
③サラダに薄焼き卵で服をきせるように包み、つまようじでとめる
④プチトマトをのせる
⑤イチゴを薄切りにし、お雛様の扇をつくる
⑥でっちようかんでお内裏様の尺をつくる

★いなり寿司とカップ寿司★
★ひなまぐろ★
★お吸い物★
★デザート１★
★デザート２★

優勝の献立

ひまわり館調理室

地元野菜健康料理教室

夏野菜（茄子）を使って

忠見美恵先生の指導で手に入り易い季節の野菜で夏と冬に健康調理を指導して頂きました。

①揚げ茄子柳川もどき
②茄子と青唐辛子の醤油煮
③茄子のマリネ
④茄子辛子酢
⑤みょうがの卵とじ汁

冬野菜（大根）を使って

①だんご汁【汁物】
②大根、豚肉、こんにゃくの味噌煮【煮物】
③大根つきつき【鍋物】
④切干大根のはりはり漬け
⑤大根葉ちりめん
⑥大根のカレーソテー
⑦大根の即席漬け

平成 22 年 6 月、12 月の全 2 回で開催された健康料理教室。地元の野菜を使い健康的な美味しい料理を作ろうと企画しました。
場所は㈱びわこだいなか愛菜館にご提供いただきました。
講師に忠見美恵氏をお迎えして、6 月には大中の茄子、12 月には大中の大根を使い、家庭でも簡単につくれる料理を教えていただきました。調理の仕方だけでなく、野菜の性質や、ちょっとした味付けの工夫など家庭でも取り入れたい調理テクニックも教えていただき、大変ためになる料理教室となりました。

びわこだいなか愛菜館の野菜と調理室でお世話になりました。

健康料理教室よりレシピを紹介！

旬の季節に冷蔵庫に余らせがちな
茄子と大根

是 非
お試し下さい

③茄子のマリネ

《材料》4 人分

- 茄　子……300ｇ
- 玉　葱……1／2個
- ピーマン（緑）……1 個
- パプリカ（赤）……1／2個
  （黄）……1／2個
- レモン……1／2個
- パセリ等

ドレッシング

サラダ油	大さじ7
酢	大さじ5
砂糖	大さじ2
塩	小さじ2
こしょう	少々

《作り方》

①玉葱は薄切りにし、水に放しパリッとさせ、その後水切りする。ピーマン、パプリカを千切りにし、レモンを薄い輪切りにする。
②ドレッシングをつくり、①をつけておく。
③茄子を乱切りにし、油で揚げ、すぐに②の中につけこむ。

③大根つきつき【鍋物】（土鍋でコトコト炊きながら）

《材料》

- 大　根……700ｇ
- 牛肉（薄切り）……200ｇ
- 赤突こんにゃく……100ｇ
- 丁 字 麩……一人1個

《割り出し》

- だし汁……×1/2カップ
- 醤油（濃口）……大さじ4
- みりん……大さじ2
- 砂糖……大さじ3

《作り方》

①大根はよく洗って皮つきのまま長く切る（ピーラーでも良い）なるべく長くついていく。
②突こんにゃくは塩もみして茹で、食べやすい長さに切る。丁字麩は水でもどして、しっかり絞っておく。牛肉も食べやすい長さに切る。
③土鍋に①②の材料を入れる。
④上から割りだしを入れて、コトコト炊きながら いただくとよい　。

近江八幡商工会議所女性会30周年記念誌

発行／近江八幡商工会議所女性会

発行責任者／髙木茂子

編集／広報委員会

委員長／柴田佳子　副委員長／南 郁子

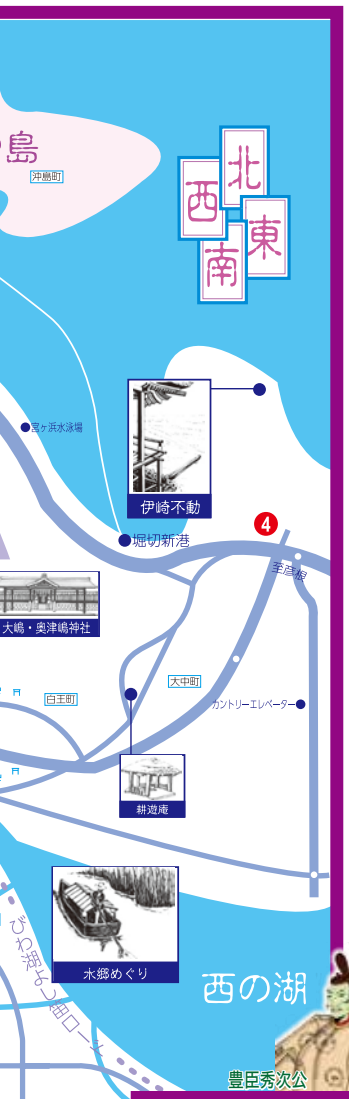
〒523-0893 近江八幡市桜宮町 231-2

TEL (0748)33-4141 FAX (0748)32-0765

制作・印刷／有限会社ラビットハウス

2020 年 12 月 3 日商工会議所大ホールにて

- 折鶴使 - ぐりん（GREN）
山田 緑 会員



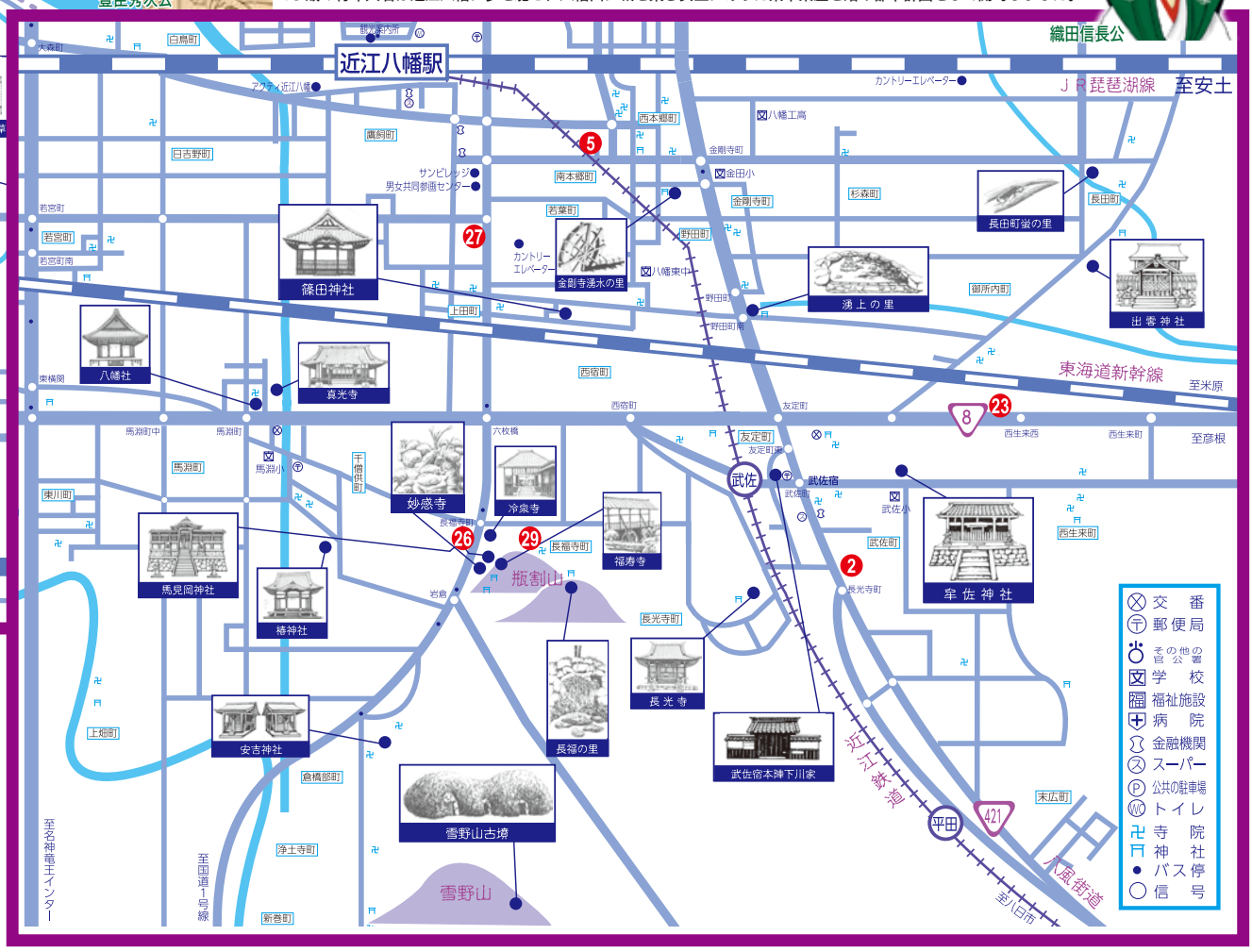
事業所名・業種	会員名
❶ ㈲おりづる（総合貸衣装）	綾部　洋子
❷ ㈱井上商事（ガラス製品製造販売）	井上　ます代
❸ ㈱和た与（和菓子製造販売）	小川　貴子
❹ 山甚水産（佃煮製造、販売）	奥村　良美
❺ ㈱八幡住宅（宅地建物取引業）	川上　靖子
❻ 美十工芸社（看板製作）	川村　典子
❼ ビューティーサロン・みどり（美容業）	神田　早苗
❽ のーぶる久保田（飲食業）	久保田　操
❾ ㈱水郷のさと　まるやま（観光）	小見山　康子
❿ でんき屋 NHA（電気工事）	柴田　佳子
⓫ 近江薬品（文化教室）	隨井　佳子
⓬ ㈲ラビットハウス（企画デザイン業）	髙木　茂子
⓭ 味の山善（近江牛肥育・卸小売）	田中　恵美子
⓮ ㈲あわ八商店（不動産賃貸業）	田中　八重子
⓯ ㈱チュチュタムラ（婦人服・宝飾小売）	田村　俊子

事業所名・業種	会員名
⓰ 北里製油㈱（飲食業）	田守　恵子
⓱ ㈱塚本楽器（楽器販売、音楽教室）	塚本　光代
⓲ ㈶一善会（介護老人福祉施設）	中川　昌子
⓳ ㈲中野電機商会（家電小売業、電気工事）	中野　晴美
⓴ ㈶しみんふくし滋賀（福祉事業）	成瀬　和子
㉑ ㈱マルタケ近江西川（近江牛販売、飲食業）	西川　恵未
㉒ 華れん（飲食業）	樋口　和子
㉓ 出雲産業㈱（自動車整備販売製造業）	平田　好子
㉔ ㈲かじ直タイヤ（タイヤ修理販売）	廣瀬　真由美
㉕ 秋桜（飲食業）	福岡　照恵
㉖ フジイ薬局㈱（保険調剤、OTC販売）	藤居　久栄
㉗ 前出産業㈱（電子部品製造業）	前出　みずほ
㉘ ㈱英興（不動産管理）	南　郁子
㉙ 藤井社会保険労務士事務所（社会保険労務士）	山田　緑
㉚ 京料理　宮前（飲食業）	若林　幸代

2020年12月3日：30周年記念日　現在　会員30名

写真協力／（一社）近江八幡観光物産協会・近江八幡市・有限会社ラビットハウス

本能寺の変で織田信長が明智光秀に討たれました。天下人になった豊臣秀吉が甥の豊臣秀次に43万石の領地を与えました。
18歳の青年大名は近江八幡に夢を馳せ、八幡山に城を築き安土にあった楽市楽座を始め都市計画をして開町しました。



Chamber of Commerce and Industry BusinessWomen's Club

商工会議所女性会